

授業概要

子どもの身体表現を理解するために、まずは学生自身が多くの表現を体験して、リズム感を高め、柔軟な身体づくりを心がけ、保育者としての資質を向上させることが必要である。幼児教育における「身体表現」のねらいを把握し、幼児がリズムカルな身体活動を楽しみ、情緒豊かに育っていくために、現場で生きる応用力を身につけながら、保育者としての指導法を学ぶことを目的として授業を展開していく。また、多くのグループ活動によって、ダンスの創作・指導ができるように、実践的な授業を指導する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス	身体表現①	簡単なリズムで動く	創作方法について
第 2 回	身体表現②	曲のイメージを表現する		
第 3 回	身体表現③	ステップの組み合わせ		
第 4 回	身体表現④	リボンを使って、大きく動く		
第 5 回	身体表現⑤	音を鳴らしてリズムで遊ぶ	フォークダンス	
第 6 回	身体表現⑥	リズムダンス、フォークダンス		
第 7 回	表現遊び①	動物になろう	動物体操	
第 8 回	表現遊び②	模倣あそび		
第 9 回	表現遊び③	物語を踊ろう		
第 10 回	実技テスト	ステップ		
第 11 回	グループ分け	創作準備	(課題曲や振付検討)	
第 12 回	グループ発表準備	創作		
第 13 回	グループ発表準備	展開		
第 14 回	グループ発表&指導			
第 15 回	グループ発表&指導			
第 16 回	舞台発表の振り返り	自己評価&相対評価		

到達目標

- ・ストレッチ、遊びの体験、リズム運動、創作表現、遊具制作等を通して指導力を身につける。
- ・多くの体験学習によって、振付や踊り、表現への抵抗感をなくし自ら楽しく身体表現できるようにする。
- ・グループでの創作や発表を通して協働性を身につけ、自己表現できる力を培い、実践力を身につける。

履修上の注意

- ・全回出席を原則とする。見学は不可、事情がある場合は相談のこと。
- ・遅刻は、20分までを認めるが、それ以降は欠席とする。遅刻3回で欠席1回の扱いとする。
- ・全ての回で運動に適した服装・身だしなみで受講すること。胸にA5サイズの名前ゼッケンをつける。
- ・初回から用意するもの：体操着（ジャージ）、A4サイズのノート（40枚綴り）、A5サイズ名前ゼッケン、はさみ、のり、セロテープ、折り紙1袋。

予習・復習

予習：シラバスを確認。前回配布されたプリントの内容で不明な部分を各自で調べておく。
 復習：授業内容をノートに記録して「将来の自分のためのテキスト」を作っていく。配布したプリントをノートに添付、教材の童謡の歌詞や由来を補足、補助教材（折り紙や小道具）の作り方を明記、感想や評価を記録。

評価方法

授業内小テスト10%、レポート課題70%、受講態度20%とする。
 レポート課題とは、リアクションペーパー、記録ノート、模擬指導案、授業内でのグループ発表を含む。

テキスト

教科書名：『幼稚園教育要領』
 著者名：文部科学省
 プリントを配布する。
 参考文献：『子どもの運動・表現遊び』 宮下恭子編 大学図書出版